

キャラクター名
名無し/クロウ

プレイヤー名

シンドローム	バロール ウロボロス		ワークス	UGNエージェントC	カヴァー	UGN特殊事例捜査官
	オプション		年齢	34	性別	男
覚醒	生誕	衝動	飢餓	初期侵食率	34 %	
出自	疎まれた子	経験	汚れ仕事	邂逅	主人:霧谷雄吾	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	34
肉体	1	0	0			1	行動値	9
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	9
精神	4	1	0			5	戦闘移動	14
社会	1	0	0			1	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	3	
運転:運転:4輪	1		芸術:			知識:知識:UGN暗部	2		情報:UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
大型拳銃	射撃	7r-2	0	5		
大型拳銃↑80	射撃	9r-2	0	5		
大型拳銃↑100	射撃	11r-2	0	5		
大型拳銃↑150	射撃	13r-2	0	5		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
大型拳銃	
ウェポンケース	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
起源種	P 執着	N 憎悪		
霧谷雄吾 紫	P 連帯感	N 不信感		
すすめ 白	P 幸福感	N 恐怖		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 8 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
グラビティテリトリー	1	基+4	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 最大HP+[LV×7]								
尾を食らう蛇	1	4	セットアップ	至近	自身	自動	-	
効果: 1D点HPを失う、背徳の理を使える。								
時間凍結	1	5	イニシアチブ	至近	自身	自動	80↑	
効果: メインプロセス。行動済みにならない。20点HP消費、1シナ1回								
無形の影	1	4	メジャー	-	-	-	-	
効果: あらゆる判定と組み合わせ可能、精神で判定。1ラウンド1回								
赤:スキルフォーカス	1	2+1	メジャー/リアク	-	-	-	-	
効果: 判定達成値+[LV×2]								
コンセ:ウロボロス	2	2	メジャー	-	-	対決	-	
効果: C値-LV(下限7)								
死神の瞳	5	3	メジャー	視界	単体	対決	-	
効果: 射撃、ダメージ無し、命中時次のダメージロール+[LV+2D]、シーン終了or効果適用まで持続								
因果歪曲	1	3	メジャー	-	範囲(選択)	-	-	
効果: 範囲(選択)に、同エンゲージ不可、1シナリオLV回								
停滞空間	1	5	メジャー	視界	単体	対決	-	
効果: 命中時シーン間行動値0に、マイナー解除可、HPダメージ無し、1シナリオLV回								
背徳の理	1	3	オート	至近	自身	自動	-	
効果: HPダメージ与えた時に使用、シーン間のウロエフェクトを組み合わせた判定D+[LV×2]								
まだらの紐	1							
効果:								
ディメンジョンゲート	1							
効果:								
効果:								

「あー名前はない。好きに呼べ」
「…黒はセンス悪かねえだろ！」
「吊られた男ねえ。
結局、生まれたことそのものが許されねえことだったってわけだ。
うまく皮肉ってくれたもんだぜ。
「死ぬのは、嫌だ。」

名前はない。が、最近ではクロウと名乗る筈が多い。
一人称:俺 二人称:お前、呼び捨て(恥ずかしい) 三人称:アイツ
性格:真面目、冷静、無愛想、めんどくさい性格、以外と冗談が言える(映画の影響)、
本心を隠しがち。生き汚い。泥嚙ってでも生きる。
好きなもの:読書、映画鑑賞、料理、仕事、朝、訓練
苦手なもの:繊細な作業、繊細なもの、子供、一般的な幸福、普通
嫌いなもの:孤独

【概要】
全身真っ黒の無愛想なおじさん。
ナンセンスおじさん、間違っていないけど酷い悪口。

【出自】疎まれた子
彼の来歴等、もうどこにも残されていないが、彼は貧しい母子家庭で生まれ、母親は彼を産み落として死んでしまった。
以降は親戚、養護施設と様々な場所を転々としたが、そのいずれでも暴力沙汰事件、というものを引き起こした。
彼自身に攻撃の意志はなかったのかもしれないが、彼の周囲で起きたことを誰一人として説明できず、